

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel. 03(3349)8088 (広報直通)

2019年12月25日

「交通と住まい」の視点によるエリアリノベーションの実証実験

「人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業」に選定

- 交通手段の変化と連携して高齢者が住み慣れたエリアに住み続けるための環境整備案を検証
- 神奈川県川崎市麻生区で計画されるオンデマンドバスに関する実証実験エリア内で、居住者に調査を実施
- 居住者調査および調査結果の分析は、東京大学 郊外住宅地再生社会連携研究部門と共同で行う
- 分析結果からモビリティサービスと連携して高齢者の外出と交流を促すリフォームとサービスを提供し、効果を測定・分析

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 磯貝匡志）および株式会社ミサワホーム総合研究所（代表取締役社長 千原勝幸）は、国土交通省が公募する「人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業」に、「高齢者等の外出を促すエリアリノベーションに関する実証実験」を提案し、選定されました。調査・検証については、東京大学 郊外住宅地再生社会連携研究部門（小泉秀樹教授）と共同で行います。

近年、路線バスやコミュニティバスの廃止、免許返納などを背景に、移動手段を失う高齢者が増えています。それに伴い、高齢者には、外部との交流機会が減ることにより生活の豊かさや生活機能の低下が懸念され、将来的には要支援・要介護へ移行する可能性もあります。こうした課題に対し、交通面ではMaaS[※]やオンデマンド交通の普及が期待される一方で、既存の住宅および住宅地には、老朽化への対策とともに、高齢者の外出機会を増やし、交流を促す住環境や仕組みづくりが求められます。

ミサワホームは、住み慣れた住宅地に住み続けるための環境整備を「交通と住まい」の視点で考え、高齢者が外出や来客の機会を増やすための住宅環境や仕組みづくりを検証する実証実験を行います。具体的には、神奈川県川崎市麻生区で計画されるオンデマンドバスに関する実証実験に合わせ、実施されるエリア内の居住者に調査を行います。得られた調査結果を分析し、新しいモビリティサービスとの連携において最適なリフォームとサービスの在り方を策定して、実施エリアにてモニターを募集、実物件に提供して、効果測定や生活者評価を行います。

実証実験による結果については、今後のエリアリノベーションに広く役立てる目的で、ミサワホーム総合研究所ホームページ内の「ミサワホーム総合研究所レポート（通称：エムレポ）」にて公開するなど、情報発信を行う予定です。

ミサワホームは、モビリティサービスと住宅改修の関係性を把握することにより、人生100年時代において、一人ひとりが外出や交流を楽しみながら、長く安心して住み続けることのできるまちづくりの実現を目指していきます。

※ Mobility as a Service の略

あらゆる交通手段を1つのサービスとして利用できるよう一体的に提供する概念

■「人生 100 年時代を支える住まい環境整備モデル事業」とは

ライフステージに応じて変化する居住ニーズに対応して、高齢者、障害者、子育て世帯など誰もが安心して暮らせる住環境の整備を促進するため、国土交通省がモデル的な取り組みを行う民間事業者等を公募し、先導性が認められた事業を支援するもの。令和元年度に創設、2回目となる今回の公募では 11 件が選定されています。

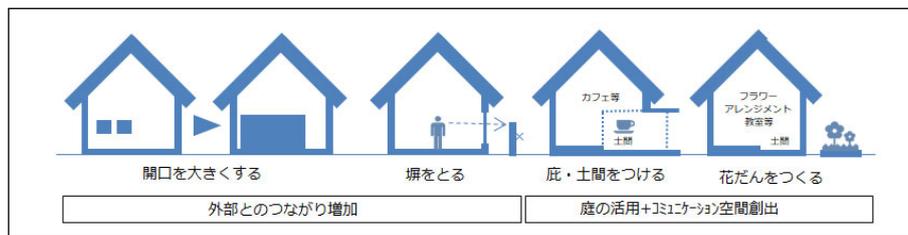
■モデル事業および実証実験概要

事業提案名称：高齢者等の外出を促すエリアリノベーションに関する実証実験

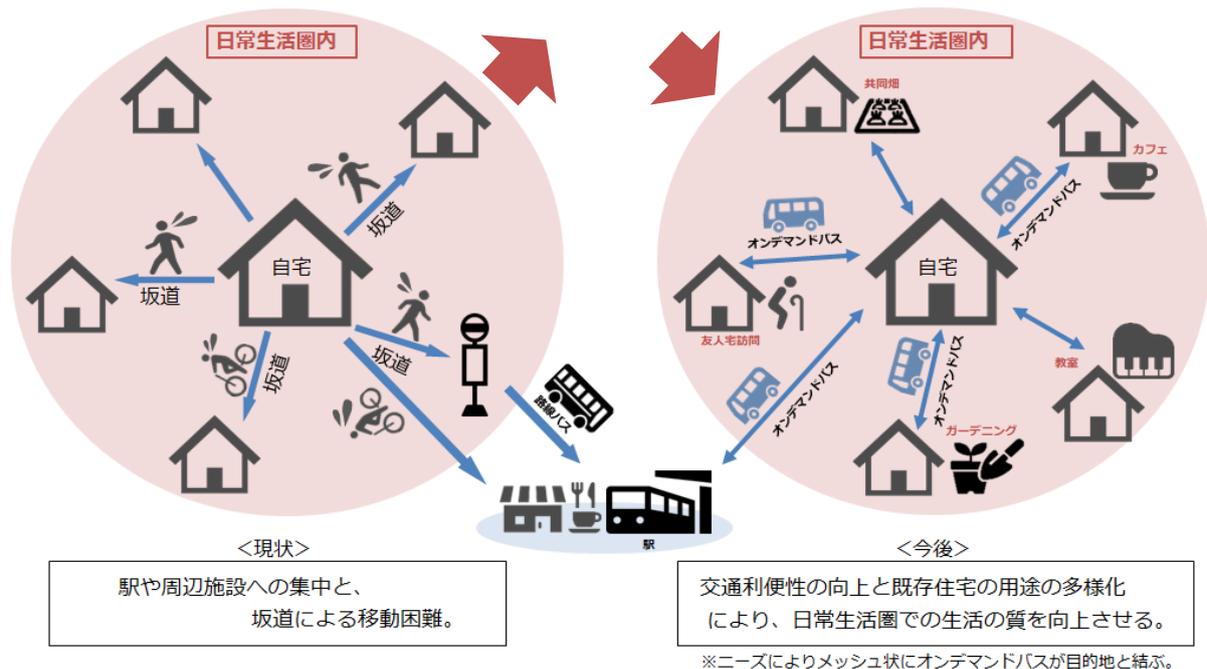
提案者：代表提案者・ミサワホーム総合研究所、共同提案者・ミサワホーム

実施エリア：神奈川県川崎市麻生区

■日常生活圏内における交通と交流の変化イメージ



<交流を増やすリフォームの一例>



以上

この件に関するお問い合わせ先

ミサワホーム(株) 経営企画部コーポレートコミュニケーション課 奥本博之 麻生和広

TEL : 03-3349-8088 / FAX : 03-5381-7838

E-mail : Kaduhiro_Asou@home.misawa.co.jp